

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信
設定日	2016年10月17日
信託期間	2016年10月17日～2021年10月18日（約5年）
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主としてオーストラリアの不動産投資信託（リート）等を実質的に投資することで、インカムゲインの確保とともに信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	オージー・リート・ファンド（毎月分配型） ・オージー・リート・マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。 オージー・リート・マザーファンド ・オーストラリアの不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
投資制限	オージー・リート・ファンド（毎月分配型） ・株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ・同一銘柄の投資信託証券（親投資信託を除きます。）への実質投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の35%以内とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 オージー・リート・マザーファンド ・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・同一銘柄の投資信託証券への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の35%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎月16日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含まれます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。 *分配金再投資コースの場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。

## 運用報告書（全体版）

### 第8作成期

決算日

第43期	2020年5月18日
第44期	2020年6月16日
第45期	2020年7月16日
第46期	2020年8月17日
第47期	2020年9月16日
第48期	2020年10月16日

## オージー・リート・ファンド （毎月分配型）

受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて「オージー・リート・ファンド（毎月分配型）」は、上記の通り決算を行いました。

ここに、第8作成期（第43期～第48期）の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 運用報告書についてのお問い合わせ  
コールセンター 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

# オージー・リート・ファンド（毎月分配型）

## 最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S&P/ASX300 A-REIT指数 (配当込み、円換算)		株式 組入比率	株式先物 組入比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	(分配率)	税込 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率				
	円	円	%		%	%	%	%	百万円
第19期(2018年5月16日)	10,740	15	3.4	11,276	3.6	—	—	99.4	203
第20期(2018年6月18日)	10,874	15	1.4	11,511	2.1	—	—	94.3	202
第21期(2018年7月17日)	11,265	15	3.7	12,052	4.7	—	—	98.2	207
第22期(2018年8月16日)	10,971	15	△ 2.5	11,783	△ 2.2	—	—	98.2	199
第23期(2018年9月18日)	11,197	15	2.2	11,968	1.6	—	—	96.8	174
第24期(2018年10月16日)	10,326	15	△ 7.6	11,031	△ 7.8	—	—	96.9	160
第25期(2018年11月16日)	10,959	15	6.3	11,697	6.0	—	—	98.2	171
第26期(2018年12月17日)	11,070	15	1.1	11,782	0.7	—	—	98.0	160
第27期(2019年1月16日)	10,868	15	△ 1.7	11,626	△ 1.3	—	—	98.3	148
第28期(2019年2月18日)	11,632	15	7.2	12,378	6.5	—	—	98.0	158
第29期(2019年3月18日)	12,030	15	3.6	12,737	2.9	—	—	99.5	162
第30期(2019年4月16日)	12,243	15	1.9	12,981	1.9	—	—	99.6	152
第31期(2019年5月16日)	11,459	15	△ 6.3	12,189	△ 6.1	—	—	99.1	142
第32期(2019年6月17日)	12,033	15	5.1	12,763	4.7	—	—	99.4	149
第33期(2019年7月16日)	12,382	15	3.0	13,299	4.2	—	—	98.8	153
第34期(2019年8月16日)	11,510	15	△ 6.9	12,380	△ 6.9	—	—	98.3	142
第35期(2019年9月17日)	11,682	15	1.6	12,647	2.2	—	—	98.2	145
第36期(2019年10月16日)	11,703	15	0.3	12,706	0.5	—	—	99.1	145
第37期(2019年11月18日)	11,976	15	2.5	13,120	3.3	—	—	99.4	148
第38期(2019年12月16日)	11,646	15	△ 2.6	12,701	△ 3.2	—	—	99.6	141
第39期(2020年1月16日)	12,355	15	6.2	13,607	7.1	—	—	98.9	150
第40期(2020年2月17日)	12,627	15	2.3	13,779	1.3	—	—	98.5	153
第41期(2020年3月16日)	9,015	15	△ 28.5	9,814	△ 28.8	—	—	99.0	109
第42期(2020年4月16日)	7,946	15	△ 11.7	8,530	△ 13.1	—	—	99.1	96
第43期(2020年5月18日)	8,021	15	1.1	8,522	△ 0.1	—	—	99.2	97
第44期(2020年6月16日)	9,406	15	17.5	10,061	18.1	—	—	99.0	114
第45期(2020年7月16日)	9,659	15	2.8	10,321	2.6	—	—	98.6	117
第46期(2020年8月17日)	10,292	15	6.7	10,840	5.0	—	—	98.5	125
第47期(2020年9月16日)	10,668	15	3.8	11,191	3.2	—	—	98.4	130
第48期(2020年10月16日)	10,927	15	2.6	11,481	2.6	—	—	98.6	132

S&P/ASX300 A-REIT指数（配当込み、円換算）とは、S&P/ASX300 A-REIT指数（配当込み、豪ドルベース）を委託者が円換算し、設定日を10,000として指数化したものです。

\* 基準価額の騰落率は分配金込み

\* 先物組入比率は、買建比率－売建比率

\* 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、各組入比率は実質組入比率を記載しています。

# オージー・リート・ファンド（毎月分配型）

## 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準価額		S&P/ASX300 A-REIT指数 (配当込み、円換算)		株 式 組入比率	株式先物 組入比率	投資信託 証券 組入比率
		円	騰落率	(参考指数)	騰落率			
第43期	(期 首) 2020年4月16日	7,946	—	8,530	—	—	—	99.1
	4月末	8,005	0.7	8,566	0.4	—	—	99.1
	(期 末) 2020年5月18日	8,036	1.1	8,522	△ 0.1	—	—	99.2
第44期	(期 首) 2020年5月18日	8,021	—	8,522	—	—	—	99.2
	5月末	9,275	15.6	9,915	16.3	—	—	99.5
	(期 末) 2020年6月16日	9,421	17.5	10,061	18.1	—	—	99.0
第45期	(期 首) 2020年6月16日	9,406	—	10,061	—	—	—	99.0
	6月末	9,363	△ 0.5	10,030	△ 0.3	—	—	98.3
	(期 末) 2020年7月16日	9,674	2.8	10,321	2.6	—	—	98.6
第46期	(期 首) 2020年7月16日	9,659	—	10,321	—	—	—	98.6
	7月末	9,772	1.2	10,308	△ 0.1	—	—	98.7
	(期 末) 2020年8月17日	10,307	6.7	10,840	5.0	—	—	98.5
第47期	(期 首) 2020年8月17日	10,292	—	10,840	—	—	—	98.5
	8月末	10,666	3.6	11,210	3.4	—	—	98.5
	(期 末) 2020年9月16日	10,683	3.8	11,191	3.2	—	—	98.4
第48期	(期 首) 2020年9月16日	10,668	—	11,191	—	—	—	98.4
	9月末	10,623	△ 0.4	11,149	△ 0.4	—	—	98.4
	(期 末) 2020年10月16日	10,942	2.6	11,481	2.6	—	—	98.6

\*騰落率は期首比です。

\*期末基準価額は分配金込み

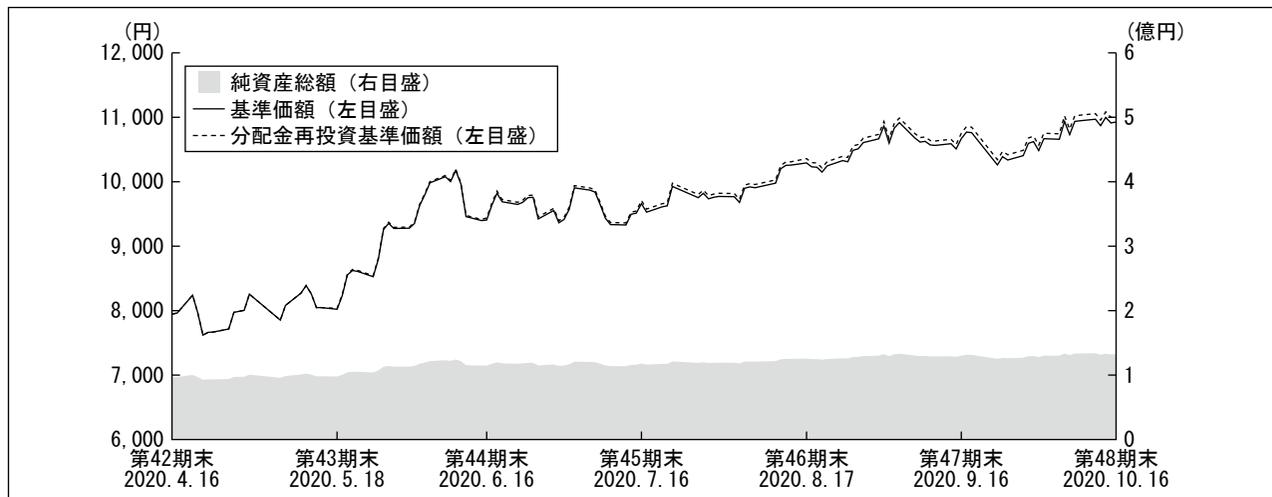
\*先物組入比率は、買建比率－売建比率

\*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、各組入比率は実質組入比率を記載しています。

# オージー・リート・ファンド（毎月分配型）

## 運用経過

### 【基準価額等の推移】



\*当ファンドにはベンチマークはありません。

\*分配金再投資基準価額は、作成期首の基準価額を基準に算出しております。

\*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

第43期首：7,946円

第48期末：10,927円（作成対象期間における期中分配金合計額 90円）

騰落率：+38.8%（分配金再投資ベース）

### 【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、オージー・リート・マザーファンドへの投資を通じて、主としてオーストラリアの不動産投資信託（リート）等を実質的に投資を行いました。

（上昇要因）

金融・財政政策が景気を下支えするとの期待や、新型コロナウイルスの感染拡大ペースが鈍化する局面では経済活動の再開への期待からオーストラリアリート市場が上昇したことが要因となりました。また、長期金利の低下を背景に分配金利回りに注目した投資資金などが流入し、上昇したことも要因となりました。

（下落要因）

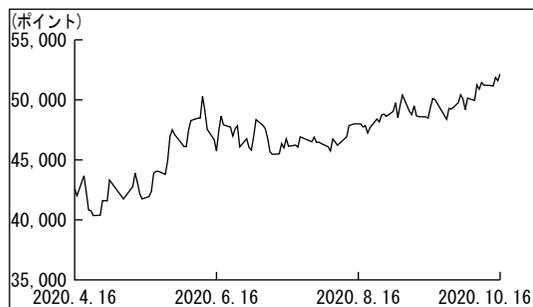
新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済の停滞が懸念されたことによるオーストラリアリート市場の下落や、円が対オーストラリアドルで強含む局面も要因となりました。

## オージー・リート・ファンド（毎月分配型）

### 【投資環境】

2020年3月にWHO（世界保健機関）による新型コロナウイルスのパンデミック（世界的大流行）宣言がなされ、世界的な感染拡大による世界経済の停滞が懸念されたことにより、オーストラリアリート市場は、急落しました。その後その反動もあり、金融・財政政策が景気を下支えするとの見方を背景に、マクロ景気の不透明感が払しょくされない中でも財務の健全な銘柄を中心に、オーストラリアリート市場は、戻り基調となりました。

S&P/ASX300 A-REIT指数（配当込み）の推移



(出所：Bloomberg)

### 【ポートフォリオ】

#### ■オージー・リート・ファンド（毎月分配型）

主要投資対象であるオージー・リート・マザーファンドを作成期を通じて高位に組み入れ、作成期末の実質的な投資信託証券組入比率は98.6%としました。

#### ■オージー・リート・マザーファンド

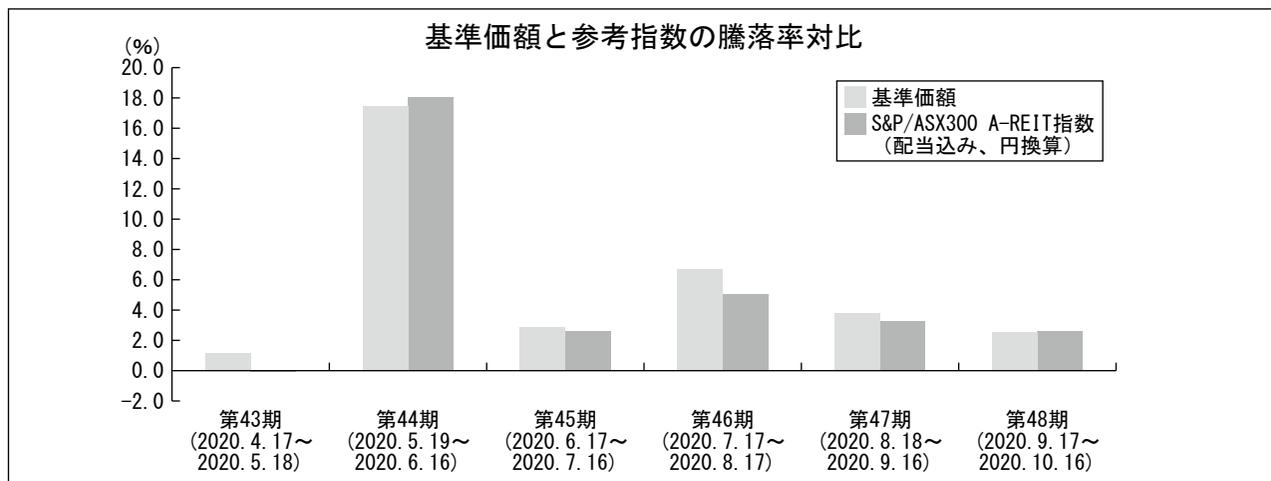
当作成期の騰落率は、+39.8%となりました。

分配金利回りや分配金の成長性を勘案したうえで、成長が期待できる銘柄の中からより割安感があるリートを選好することで、インカムゲインの確保とともに信託財産の中長期的な成長を目指す運用を行いました。個別銘柄では、商業用、住居用など幅広い不動産投資開発を手掛けるチャーター・ホール・グループが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響にも関わらず今年度の増益見通しを発表したことから上昇しました。一方、米国や英国のショッピングセンターに投資するユニベイル・ロダムコ・ウエストフィールドは、欧州を中心とした小売関連事業の業績指標の悪化が嫌気されて下落しました。

## オージー・リート・ファンド（毎月分配型）

### 【ベンチマークとの差異】

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



\* 基準価額の騰落率は、分配金込みで計算しております。

### 【分配金】

分配金は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第43期～第48期の各期において15円とさせていただきます。（1万口当り税込み）

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

### ■ 分配原資の内訳

（1万口当り・税引前）

項目	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期	第48期
	2020年4月17日 ～2020年5月18日	2020年5月19日 ～2020年6月16日	2020年6月17日 ～2020年7月16日	2020年7月17日 ～2020年8月17日	2020年8月18日 ～2020年9月16日	2020年9月17日 ～2020年10月16日
当期分配金 (円)	15	15	15	15	15	15
(対基準価額比率) (%)	0.19	0.16	0.16	0.15	0.14	0.14
当期の収益 (円)	4	—	15	15	15	11
当期の収益以外 (円)	10	15	—	—	—	3
翌期繰越分配対象額 (円)	2,687	2,672	2,727	2,730	2,753	2,750

※円未満を切り捨てしているため、「当期分配金」は「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計額と一致しない場合があります。

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

# オージー・リート・ファンド（毎月分配型）

## 今後の運用方針

### ■オージー・リート・ファンド（毎月分配型）

引き続き、運用の基本方針に従い、マザーファンドへの投資を通じて、主としてオーストラリアの不動産投資信託（リート）等を実質的に投資することで、インカムゲインの確保とともに信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

### ■オージー・リート・マザーファンド

オーストラリアリート市場の分配金利回りは、依然として魅力的な水準にあり、他のアジア先進国市場対比で見ても高い分配金の成長が期待されます。また、リートの価格は純資産価値を下回っている一方、現物不動産は商業施設を除いて依然、純資産価値を上回る水準で取り引きされていることも、リート投資家には安心材料となっています。オーストラリア政府は財政出動による景気刺激策を用意しており、RBA（オーストラリア準備銀行）も低金利政策の継続を示唆していることから、オーストラリアリートの分配金利回り水準は相対的に魅力的な状況が継続すると考えます。

当ファンドでは、人口増を背景に需給環境が良好な大都市圏に物件を保有するリートを選好しています。今後も、トータルリターン（直近の分配金利回り＋今後の予想分配額の伸び率）の観点から、財務体質が健全であり、金利上昇への対応力も高い銘柄に投資していく方針です。

## 1万口当りの費用明細

項目	第43期～第48期		項目の概要
	2020年4月17日～2020年10月16日		
	金額	比率	
信託報酬	66円	0.684%	信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率 作成期中の平均基準価額は9,617円です。
（投信会社）	(24)	(0.248)	ファンドの運用等の対価
（販売会社）	(40)	(0.414)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(2)	(0.022)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	4	0.044	売買委託手数料＝作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均受益権口数
（投資証券）	(4)	(0.044)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
その他費用	17	0.173	その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(15)	(0.153)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.006)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(1)	(0.014)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	87	0.901	

\* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

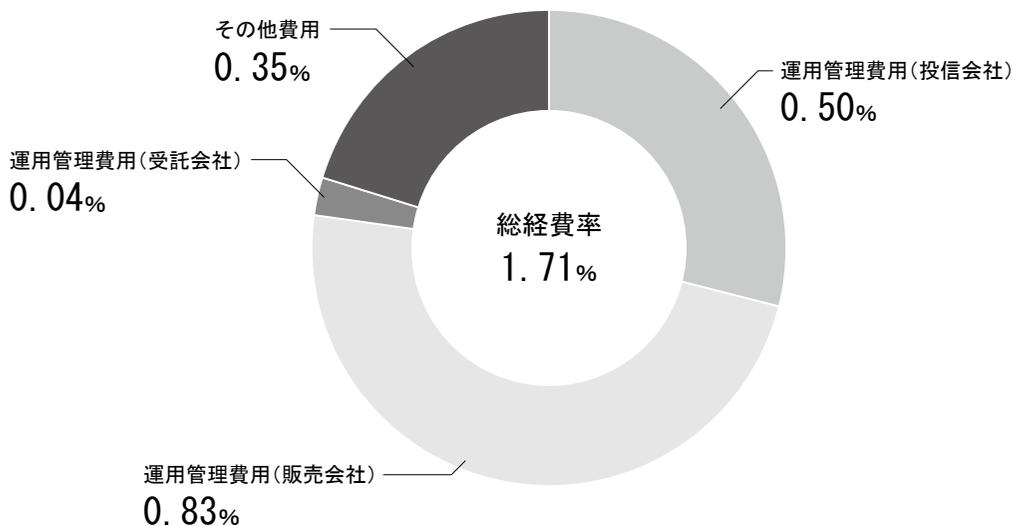
\* 作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、売買委託手数料及びその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。

\* 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

## オージー・リート・ファンド（毎月分配型）

### 参考情報 総経費率（年率換算）



\*各費用は、前掲「1万口当りの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

\*各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。

\*上記の前提条件で算出しているため、「1万口当りの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率換算）は1.71%です。

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

（2020年4月17日から2020年10月16日まで）

決算期	第43期		第48期	
	設 口 数	定 金 額	解 口 数	約 金 額
オージー・リート・マザーファンド	千口 418	千円 405	千口 3,067	千円 3,377

## オージー・リート・ファンド（毎月分配型）

### 利害関係人との取引状況等

（2020年4月17日から2020年10月16日まで）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

### 自社による当ファンドの設定・解約状況

（2020年4月17日から2020年10月16日まで）

作成期首残高(元本)	当作成期設定元本	当作成期解約元本	作成期末残高(元本)	取引の理由
百万円 100	百万円 —	百万円 —	百万円 100	当初設定時における取得

### 組入資産の明細

2020年10月16日現在

#### ■親投資信託残高

	第 42 期 末	第 48 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
オージー・リート・マザーファンド	110,424	107,775	132,251

\*オージー・リート・マザーファンド全体の受益権口数は、107,775千口です。

# オージー・リート・ファンド（毎月分配型）

## 投資信託財産の構成

2020年10月16日現在

項 目	第 48 期 末	
	評 価 額	比 率
オージー・リート・マザーファンド	132,251 千円	99.7 %
コール・ローン等、その他	391	0.3
投資信託財産総額	132,642	100.0

\* 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1 オーストラリア・ドル=74.61円

\* オージー・リート・マザーファンド

当期末における外貨建資産（131,833千円）の投資信託財産総額（132,587千円）に対する比率 99.4%

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	(2020年5月18日)	(2020年6月16日)	(2020年7月16日)	(2020年8月17日)	(2020年9月16日)	(2020年10月16日)現在
	第 43 期 末	第 44 期 末	第 45 期 末	第 46 期 末	第 47 期 末	第 48 期 末
(A) 資 産	98,113,579円	115,099,836円	118,155,712円	125,924,040円	130,517,678円	132,642,941円
コール・ローン等	—	—	—	—	50,000	56,273
オージー・リート・マザーファンド(評価額)	98,113,579	115,099,836	118,155,712	125,924,040	130,134,215	132,251,355
未 収 入 金	—	—	—	—	333,463	335,313
(B) 負 債	300,813	366,059	317,438	331,436	332,963	334,895
未 払 収 益 分 配 金	182,925	182,975	183,003	183,038	183,056	181,626
未 払 解 約 金	—	58,361	—	—	—	—
未 払 信 託 報 酬	116,866	122,628	131,188	143,886	144,134	146,212
そ の 他 未 払 費 用	1,022	2,095	3,247	4,512	5,773	7,057
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	97,812,766	114,733,777	117,838,274	125,592,604	130,184,715	132,308,046
元 本	121,950,578	121,983,925	122,002,002	122,025,351	122,037,693	121,084,007
次 期 繰 越 損 益 金	△ 24,137,812	△ 7,250,148	△ 4,163,728	3,567,253	8,147,022	11,224,039
(D) 受 益 権 総 口 数	121,950,578口	121,983,925口	122,002,002口	122,025,351口	122,037,693口	121,084,007口
1 万 口 当 り 基 準 価 額 (C/D)	8,021円	9,406円	9,659円	10,292円	10,668円	10,927円

\* 元本状況

期首元本額 121,641,030円 121,950,578円 121,983,925円 122,002,002円 122,025,351円 122,037,693円

期中追加設定元本額 311,519円 95,503円 18,077円 23,349円 12,342円 11,405円

期中一部解約元本額 1,971円 62,156円 0円 0円 0円 965,091円

\* 元本の欠損 24,137,812円 7,250,148円 4,163,728円 — — —

# オージー・リート・ファンド（毎月分配型）

## 損益の状況

	自2020年4月17日 至2020年5月18日	自2020年5月19日 至2020年6月16日	自2020年6月17日 至2020年7月16日	自2020年7月17日 至2020年8月17日	自2020年8月18日 至2020年9月16日	自2020年9月17日 至2020年10月16日
項 目	第 43 期	第 44 期	第 45 期	第 46 期	第 47 期	第 48 期
(A) 有価証券売買損益	1,206,659円	17,186,429円	3,402,768円	8,059,452円	4,907,812円	3,469,787円
売 買 益	1,206,663	17,194,966	3,402,768	8,059,452	4,908,109	3,498,973
売 買 損	△ 4	△ 8,537	—	—	△ 297	△ 29,186
(B) 信託報酬等	△ 117,888	△ 123,701	△ 132,340	△ 145,151	△ 145,395	△ 147,496
(C) 当期損益金(A+B)	1,088,771	17,062,728	3,270,428	7,914,301	4,762,417	3,322,291
(D) 前期繰越損益金	△26,739,255	△25,820,253	△ 8,940,500	△ 5,853,075	1,878,188	6,406,487
(E) 追加信託差損益金	1,695,597	1,690,352	1,689,347	1,689,065	1,689,473	1,676,887
(配当等相当額)	( 2,580,626)	( 2,605,055)	( 2,609,883)	( 2,616,376)	( 2,619,761)	( 2,602,173)
(売買損益相当額)	(△ 885,029)	(△ 914,703)	(△ 920,536)	(△ 927,311)	(△ 930,288)	(△ 925,286)
(F) 計 (C+D+E)	△23,954,887	△ 7,067,173	△ 3,980,725	3,750,291	8,330,078	11,405,665
(G) 収益分配金	△ 182,925	△ 182,975	△ 183,003	△ 183,038	△ 183,056	△ 181,626
次期繰越損益金(F+G)	△24,137,812	△ 7,250,148	△ 4,163,728	3,567,253	8,147,022	11,224,039
追加信託差損益金	1,695,597	1,690,352	1,689,347	1,689,065	1,689,473	1,676,887
(配当等相当額)	( 2,580,719)	( 2,605,055)	( 2,610,008)	( 2,616,393)	( 2,619,771)	( 2,602,185)
(売買損益相当額)	(△ 885,122)	(△ 914,703)	(△ 920,661)	(△ 927,328)	(△ 930,298)	(△ 925,298)
分配準備積立金	30,190,275	29,991,939	30,667,408	30,700,194	30,987,057	30,699,561
繰越損益金	△56,023,684	△38,932,439	△36,520,483	△28,822,006	△24,529,508	△21,152,409

\*有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

\*信託報酬等には、消費税等相当額を含めて表示しております。

\*追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

### <分配金の計算過程>

信託約款に基づき計算した収益分配可能額及び収益分配金の計算過程は以下のとおりです。

決 算 期	第 43 期	第 44 期	第 45 期	第 46 期	第 47 期	第 48 期
(A) 配当等収益(費用控除後)	55,668円	11円	858,472円	215,824円	469,919円	139,151円
(B) 有価証券売買等損益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0	0	0	0	0	0
(C) 収益調整金	2,580,719	2,605,055	2,610,008	2,616,393	2,619,771	2,602,185
(D) 分配準備積立金	30,317,532	30,174,903	29,991,939	30,667,408	30,700,194	30,742,036
分配可能額(A+B+C+D)	32,953,919	32,779,969	33,460,419	33,499,625	33,789,884	33,483,372
(1万口当り分配可能額)	( 2,702.24)	( 2,687.24)	( 2,742.61)	( 2,745.3)	( 2,768.81)	( 2,765.3)
収益分配金	182,925	182,975	183,003	183,038	183,056	181,626
(1万口当り収益分配金)	( 15)	( 15)	( 15)	( 15)	( 15)	( 15)

# オージー・リート・ファンド（毎月分配型）

## 分配金のお知らせ

決算期	第43期	第44期	第45期	第46期	第47期	第48期
1万口当り分配金(税込み)	15円	15円	15円	15円	15円	15円

### ■分配金のお支払いについて

分配金のお支払いは各決算日から起算して5営業日までに開始いたします。

### ■課税上のお取扱いについて

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金は20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。なお、確定申告を行い、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。

※法人の受益者の場合、税率が異なります。

※外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

※課税上のお取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## お知らせ

該当事項はございません。

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。

# オージー・リート・マザーファンド

## 運用報告書

決算日：2020年10月16日

(第4期：2019年10月17日～2020年10月16日)

当ファンドは、上記の通り決算を行いました。ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	オーストラリアの不動産投資信託証券に投資することにより、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	オーストラリアの不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
投資制限	<ul style="list-style-type: none"><li>・株式の投資割合には、制限を設けません。</li><li>・同一銘柄の投資信託証券への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の35%以内とします。</li><li>・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</li></ul>



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1

<https://www.smd-am.co.jp>

# オージー・リート・マザーファンド

## 設定以来の運用実績

決算期	基準価額		S&P/ASX300 A-REIT指数 (配当込み、円換算) (参考指数)		株式 組入比率	株式先物 組入比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	期 騰 落	中 率	期 騰 落	中 率				
(設定日) 2016年10月17日	円 10,000	% —	10,000	% —	% —	% —	% —	百万円 100
第1期(2017年10月16日)	11,339	13.4	11,371	13.7	1.0	—	92.2	220
第2期(2018年10月16日)	10,915	△ 3.7	11,031	△ 3.0	—	—	96.7	161
第3期(2019年10月16日)	12,727	16.6	12,706	15.2	—	—	98.9	145
第4期(2020年10月16日)	12,271	△ 3.6	11,481	△ 9.6	—	—	98.7	132

S&P/ASX300 A-REIT指数(配当込み、円換算)とは、S&P/ASX300 A-REIT指数(配当込み、豪ドルベース)を委託者が円換算し、設定日を10,000として指数化したものです。

\*設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

\*先物組入比率は、買建比率-売建比率

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		S&P/ASX300 A-REIT指数 (配当込み、円換算) (参考指数)		株式 組入比率	株式先物 組入比率	投資信託 証券 組入比率
	騰 落	率	騰 落	率			
(期首) 2019年10月16日	円 12,727	% —	12,706	% —	% —	% —	% 98.9
10月末	13,153	3.3	13,178	3.7	—	—	99.2
11月末	13,185	3.6	13,224	4.1	—	—	99.4
12月末	13,269	4.3	13,280	4.5	—	—	99.5
2020年1月末	13,334	4.8	13,351	5.1	—	—	98.4
2月末	13,040	2.5	12,888	1.4	—	—	98.2
3月末	7,500	△41.1	7,220	△43.2	—	—	98.7
4月末	8,849	△30.5	8,566	△32.6	—	—	99.1
5月末	10,284	△19.2	9,915	△22.0	—	—	99.5
6月末	10,411	△18.2	10,030	△21.1	—	—	98.2
7月末	10,895	△14.4	10,308	△18.9	—	—	98.6
8月末	11,923	△ 6.3	11,210	△11.8	—	—	98.5
9月末	11,905	△ 6.5	11,149	△12.3	—	—	98.4
(期末) 2020年10月16日	12,271	△ 3.6	11,481	△ 9.6	—	—	98.7

\*騰落率は期首比です。

\*先物組入比率は、買建比率-売建比率

## 運用経過

### 【基準価額等の推移】

期首：12,727円

期末：12,271円

騰落率：△3.6%

### 【基準価額の主な変動要因】

(上昇要因)

金融・財政政策が景気を下支えするとの期待や、新型コロナウイルスの感染拡大ペースが鈍化する局面では経済活動の再開への期待からオーストラリアリート市場が上昇したことが要因となりました。また、長期金利の低下を背景に分配金利回りに注目した投資資金などが流入し、上昇したことも要因となりました。

(下落要因)

新型コロナウイルスの感染拡大による世界経済の停滞が懸念されたことによるオーストラリアリート市場の下落や、円が対オーストラリアドルで強含む局面も要因となりました。

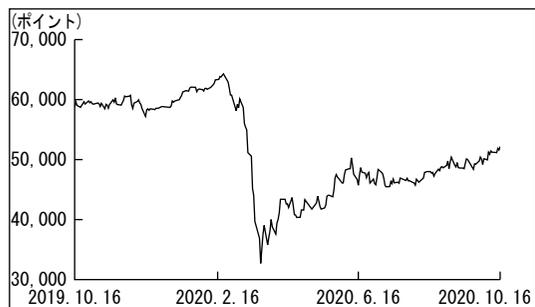
### 【投資環境】

当期初から2020年1月にかけては、米中貿易協議に対する思惑や大規模な森林火災などによる神経質な展開が続く一方、住宅市場支援策や、RBA（オーストラリア準備銀行）による追加的な緩和期待などから、相対的に魅力のある分配金利回りを背景に、オーストラリアリート市場は堅調に推移しました。3月にWHO（世界保健機関）による新型コロナウイルスのパンデミック（世界的大流行）宣言がなされ、世界的な感染拡大による世界経済の停滞が懸念されたことにより、オーストラリアリート市場は急落しました。その後は金融・財政政策が景気を下支えするとの見方を背景に、マクロ景気の不透明感が払しょくされない中でも財務の健全な銘柄を中心に、戻り基調となりました。

基準価額の推移



S&P/ASX300 A-REIT指数（配当込み）の推移



(出所：Bloomberg)

### 【ポートフォリオ】

当期の騰落率は、 $\Delta 3.6\%$ となりました。

分配金利回りや分配金の成長性を勘案したうえで、成長が期待できる銘柄の中からより割安感があるリートを選好することで、インカムゲインの確保とともに信託財産の中長期的な成長を目指す運用を行いました。個別銘柄では、物流施設やビジネスパークなどの成長分野における競争優位性が評価されてきたグッドマン・グループは、産業用施設に投資するリートへ世界的に投資家の資金が向かう中、eコマース（電子商取引）時代の構造的な勝ち組企業として堅調に推移しました。一方、米国や英国のショッピングセンターに投資するユニベイル・ロダムコ・ウエストフィールドは、欧州を中心とした小売関連事業の業績指標の悪化が嫌気されて下落しました。

### 【ベンチマークとの差異】

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

基準価額の騰落率は、参考指数であるS&P/ASX300 A-REIT指数（配当込み、円換算）の騰落率 $\Delta 9.6\%$ を $6.0\%$ 上回りました。

### 今後の運用方針

オーストラリアリート市場の分配金利回りは、依然として魅力的な水準にあり、他のアジア先進国市場対比で見ても高い分配金の成長が期待されます。また、リートの価格は純資産価値を下回っている一方、現物不動産は商業施設を除いて依然、純資産価値を上回る水準で取り引きされていることも、リート投資家には安心材料となっています。オーストラリア政府は財政出動による景気刺激策を用意しており、RBA（オーストラリア準備銀行）も低金利政策の継続を示唆していることから、オーストラリアリートの分配金利回り水準は相対的に魅力的な状況が継続すると考えます。

当ファンドでは、人口増を背景に需給環境が良好な大都市圏に物件を保有するリートを選好しています。今後も、トータルリターン（直近の分配金利回り＋今後の予想分配額の伸び率）の観点から、財務体質が健全であり、金利上昇への対応力も高い銘柄に投資していく方針です。

# オージー・リート・マザーファンド

## 1万口当りの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2019年10月17日～2020年10月16日		
	金額	比率	
売買委託手数料 (投資証券)	12円 (12)	0.104% (0.104)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
その他費用 (保管費用) (その他)	37 (36) (1)	0.324 (0.311) (0.013)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	49	0.428	
期中の平均基準価額は11,479円です。			

\* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

## 売買及び取引の状況

(2019年10月17日から2020年10月16日まで)

### ■ 投資証券

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	UNIBAIL-RODAMCO-WESTFIEL/CDI	—	—	5,000	40
	SCENTRE GROUP	—	—	15,935	61
	SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	26,600	56	—	—
	WAYPOINT REIT	7,680	21	—	—
	CHARTER HALL SOCIAL INFRASTR	—	—	22,875	54
	CENTURIA INDUSTRIAL REIT	17,500	59	—	—
	RURAL FUNDS GROUP	—	—	21,915	39
	INGENIA COMMUNITIES GROUP	—	—	8,397	38
	APN INDUSTRIA REIT	—	—	4,429	13
	CHARTER HALL LONG WALE REIT	10,000	42	—	—
	DEXUS	—	—	3,818	35
	GPT GROUP	12,205	75	—	—
	CHARTER HALL RETAIL REIT	—	—	8,468	27
	MIRVAC GROUP	—	—	6,177	20

## オージー・リート・マザーファンド

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	STOCKLAND	22,165	千オーストラリア・ドル 72	—	千オーストラリア・ドル —
	ABACUS PROPERTY GROUP	10,000	39	5,000	14
	GOODMAN GROUP	—	—	3,414	44
	VICINITY CENTRES	—	—	8,574	13
	CHARTER HALL GROUP	837	9	3,155	32

\*金額は受渡し代金

### 利害関係人との取引状況等

(2019年10月17日から2020年10月16日まで)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細

2020年10月16日現在

■外国投資証券

銘柄	期首 (前期末)	当 期			末
		口 数	口 数	外 貨 建 金 額	
(オーストラリア・ドル…オーストラリア)	口	口	千オーストラリア・ドル	千円	
UNIBAIL-RODAMCO-WESTFIEL/CDI	5,000	—	—	—	—
SCENTRE GROUP	70,504	54,569	124	9,323	
SHOPPING CENTRES AUSTRALASIA	—	26,600	60	4,524	
WAYPOINT REIT	10,000	17,680	47	3,574	
CHARTER HALL SOCIAL INFRASTR	23,655	780	2	161	
CENTURIA INDUSTRIAL REIT	—	17,500	57	4,256	
ARENA REIT	27,438	27,438	72	5,424	
RURAL FUNDS GROUP	26,725	4,810	11	861	
INGENIA COMMUNITIES GROUP	11,995	3,598	17	1,320	
APN INDUSTRIA REIT	22,144	17,715	46	3,476	
CHARTER HALL LONG WALE REIT	—	10,000	52	3,887	
DEXUS	15,905	12,087	112	8,404	
GPT GROUP	19,102	31,307	132	9,880	
CHARTER HALL RETAIL REIT	10,585	2,117	7	576	
MIRVAC GROUP	63,347	57,170	131	9,810	
STOCKLAND	18,319	40,484	170	12,746	
ABACUS PROPERTY GROUP	—	5,000	14	1,093	
GOODMAN GROUP	30,793	27,379	525	39,200	
VICINITY CENTRES	21,433	12,859	18	1,347	
CHARTER HALL GROUP	12,880	10,562	142	10,622	
合 計	金額 389,825	金額 379,655	金額 1,749	金額 130,494	
	銘柄数 <比率> 16銘柄	銘柄数 19銘柄	—	<98.7%>	

\* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

\* 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する投資証券評価額の比率

投資信託財産の構成

2020年10月16日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 証 券	千円 130,494	% 98.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	2,092	1.6
投 資 信 託 財 産 総 額	132,587	100.0

\*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1 オーストラリア・ドル=74.61円

\*当期末における外貨建資産（131,833千円）の投資信託財産総額（132,587千円）に対する比率 99.4%

資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年10月16日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	133,482,223円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1,941,494
投 資 証 券(評価額)	130,494,185
未 収 入 金	907,640
未 収 配 当 金	138,904
(B) 負 債	1,230,513
未 払 金	895,200
未 払 解 約 金	335,313
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	132,251,710
元 本	107,775,532
次 期 繰 越 損 益 金	24,476,178
(D) 受 益 権 総 口 数	107,775,532口
1 万 口 当 り 基 準 価 額(C/D)	12,271円

\*元本状況

期首元本額	114,551,300円
期中追加設定元本額	891,254円
期中一部解約元本額	7,667,022円

\*元本の内訳

オージー・リート・ファンド（毎月分配型）	107,775,532円
----------------------	--------------

損益の状況

自2019年10月17日  
至2020年10月16日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	4,265,152円
受 取 配 当 金	4,265,303
受 取 利 息	5
支 払 利 息	△ 156
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 9,146,096
売 買 損 益	17,576,123
売 買 損	△26,722,219
(C) そ の 他 費 用	△ 412,012
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△ 5,292,956
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	31,241,678
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 1,574,495
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	101,951
(H) 計 (D+E+F+G)	24,476,178
次 期 繰 越 損 益 金(H)	24,476,178

\*有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

\*解約差損益金とは、一部解約時の解約金額と元本の差額をいい、元本を下回る額は利益として、上回る額は損失として処理されます。

\*追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

お知らせ

該当事項はございません。

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。